

白浜レスキューネットワーク通信 1月号

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 3137-8

TEL&FAX0739-43-8981

<http://srnw.or.jp>e-mail yabiumi@gmail.com

理事長 藤藪庸一

郵便振替 00920-6-85589 口座名：白浜レスキューネットワーク
 紀陽銀行白浜支店普通預金 589389 口座名：NPO特定非営利活動法人
 白浜レスキューネットワーク

自殺者救済活動

1月1日～1月31日

電話件数 122件

メール相談 5人

保護件数 3件(男性2名、女性1名)

○20日、男性を保護。田辺駅前に数日宿泊していたが、その間、三段壁を何度も行ったり来たりしたようだ。

○28日、男性を保護。三段壁で死にきれず、電話をかけてきてくれた。

○30日、女性を保護。田辺保健所と警察からの依頼で一泊だけ保護することに。翌日、帰宅。田辺氏の職員が母親に託す。

生活自立支援活動

1月1日～1月31日

滞在者数 15人(男性12人、女性3人)

自主退所 2名(男性2名)

○先月から近くのコンビニに行っている女性は、まちなかキッチンとの両立を続けている。休みの日は、ずいぶんよく寝ているようだが、仕事を休まないようにうまく調整できているということだ。

○80代の男性は、6日に体が動かなくなり、脳梗塞かと救急車で病院に行った。診察の結果はインフルエンザA型。翌日から20代の男性が同じA型、藤藪夫妻にも感染。共同生活内で感染が広がった。一週間ほど男性は寝たが、現在は回復して元気に過ごしている。

○作業所に通っている男性は、同室者が「部屋に忘れ物を取りに行く」と言ったまま行方が分からなくなったことで不安定になり、一週間ほど落ち込んだ様子だった。相部屋へ部屋替えを行った。

○近くのコンビニに行っている男性は、まちなかキッチンでの仕事ぶりから、細かいところによく気が付くということが分かってきた。本人にそういうと「前からです」と言うけれど、これは役に立つ力だと思う。定住して同じ仕事をずっと続けていけるかが今後の課題かもしれない。

○お菓子屋さんに行っている男性は、クリスマスと年末年始の繁忙期を乗り越え、新年会に参加させてもらえるところまで来た。そこで、正社員の話もしてもらえたようだ。しかし、新年会の際、帰ってきたのが朝4時過ぎ。羽目を外しすぎたなどと話し合った。

○糖尿病を患っている男性は、慣れた仕事は段取り良く丁寧にきちんと行うことができる。しかし、イレギュラーなことや急いで判断することに弱く、今やっている注文取りの仕事は良い訓練になっていると思う。限られた時間に早く仕事を終わらせていく。

○豆腐屋とまちなかキッチンと掛け持ちしている男性は、白浜に来る前から始めて、来た当初のこと、そして最近に至るまでの思い出を交換ノートに書いてくれ始めた。これがなかなか面白い。あの時、こんな気持ちだったのかなど再確認させられている。

○20代の男性は、まちなかキッチン内で配置換えをしてから、だんだん、慣れてきたようだ。今、課題として取り組んでいるのは、段取りと先々を考え、余裕のあるうちに前倒して、仕事を早く終わらせていくことだ。任されていることだけ時間内に終わらせたらいいいという仕事はダメで、早く仕事を終わらせて、更に次を見つけてやっていく姿勢が大事だということだ。

○まちなかキッチンとホテルでの仕事を両立させたいと思っていた男性は、克服したかと思っていた課題が、まだ残っていたことに気づかされた。それは、叱られた際に、叱られっぷりが悪い。失敗を指摘された際の態度が悪いということ。結局、自分のミスを認めるしかないわけだが、しばらくの間、不満げな顔で前向きに取り組めない。ムツとしてしまって、感情的な話になってしまう。自分はこの傾向があるとわかっているだけで対処の仕方も出てくるので、頑張ってもらいたい。

○言葉遣いや態度に気を付けている男性は、年末年始に実家に帰ってきた。家では白浜で頑張っていることを話せたようで、家族からも理解されているようだ。戻ってきてからも心機一転、さらに課題に前向きに取り組んでいる。

○70代の女性は、今までは自分でバスを利用して病院へ行くようになった。通院の際、共同生活の場を離れて、ちょっとした買い物などとして気分転換も出来ているようだ。

○中国人の女性は、3月か4月にカナダにいる娘のところに行く計画を立てている。この計画は実現しそうな感じだ。体調は戻りつつある。

○4月から共同生活に加わっている男性は、年末年始にホテルのバイトに行った。

○11日、10代の男性は、生活態度を叱られ、そのまま実家に帰ってしまった。17日、母親と一緒にあいさつに来て、一度、共同生活から離れて厳しい世界でやり直したいと言った。その後、聖歌隊には顔を出している。

○4日、12月から共同生活に加わっていた男性が夕食に来る前に、部屋に忘れ物を取りに行くと言って部屋に戻ったのを最後にどこに行ったか分からなくなった。手元には4,000円あった。こちらに来るときも4000円ほど持っていたことから、数千円残して次の場所に移る癖のようなものがある可能性もある。

○今月から加わった女性は、70代の女性と仲良くなり始めている。落ち着くまでは時間がかかると思う。

まちなかキッチンの無料のお弁当は、毎日ひとりの男性に提供している。

3人の男性が利用する。

・放課後クラブ・コペルくんとコペルくん+

4月からのコペルくんの活動を休止して寮を運営していく方針で動き出している。

・夜コペ

月、水、金、夜8時から10時まで、変わらず行った。受験に向けて動き出している。

・相談電話

2日、9日、16日、23日、24日に行なった。今月も1人の相談員が休まず電話相談にあたった。

・はじめ人間自然塾



バームクーヘンづくりを行った。

・本の出版とドキュメンタリー映画



www.bokushitogake.com

1月19日～3月1日、ポレポレ東中野にて上映中。
本はアマゾンで購入できます。

自殺予防活動

・フードバンク&フードドライブ